

新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 参考見積仕様書に係る質問回答書 その1

2023/6/26 公益財団法人宮城県環境事業公社、株式会社エックス都市研究所

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
1	計画処理能力と放流可能量の関係について	参考見積仕様書	3	参考見積仕様書に記載の浸出水処理施設の計画水量には、設計条件の計画処理能力350m ³ /日と公害防止基準の放流可能水量350m ³ /日の2種類があります。 前者の計画処理能力350m ³ /日は、放流する浸出水の計画処理量となります。 ここで、放流量には、計画処理能力に浸出水処理過程での使用薬品量、薬品溶解用給水量、脱水機洗浄水量等が加算されるため、水量収支から求める放流量は、計画処理能力350m ³ /日を超えると考えられます。 したがって、設計上、放流量が後者の放流可能水量350m ³ /日を超過する分は、許容範囲内と考えて宜しいでしょうか。	計画処理能力 350 m ³ /日を確認した施設を計画してください。 なお下水道管理者との運用調整により一時的に放流量を制限することがありますので（最大放流量 350 m ³ /日）、放流量調整と超過分の処理水を浸出水調整槽②に返送するなどの運用が可能とする施設としてください。 （計画処理能力は、第2回目見積徴収時、浸出水処理水量 350 m³/日以上、下水道放流量上限 350 m³/日に変更しています。）
		参考見積仕様書	6		
2	浸出水調整槽②の容量と設計対象施設について	参考見積仕様書	3	参考見積仕様書に、「浸出水調整設備容量 ①20,300+②15,000=35,300m ³ 添付資料5参照」とありますが、添付資料5の浸出水調整槽②概略構造図では、「槽容量ΣV=10430+10430=20860m ³ 」、「本体は対象内」となっています。 他方、添付資料5の浸出水調整槽①概略構造図には、槽容量の記載なく、「本体は対象外」となっています。 したがって、参考見積仕様書は、正しくは「浸出水調整設備容量 ①15,000+②20,300=35,300m ³ 」で、また、依頼状にある参考見積設計対象施設の浸出水調整容量は、15,000m ³ ではなく、20,300m ³ ではないでしょうか。 なお、浸出水調整槽②の現在の有効水深7mを約5.2mとすることで、有効容量は、15,000m ³ になると拝察します。	浸出水調整槽①が 20,300m ³ 、浸出水調整槽②が 15,000m ³ で問題ありません。添付資料 5 浸出水調整槽②概略構造図に記載の槽容量 20,860m ³ は余裕を持って設定した値であり、今後見直す可能性があります。今回の参考見積設計においては、添付資料 5 の形状を基本として計画してください。 （浸出水調整槽の容量は、第2回目見積徴収時、調整槽①が 24,000m³、調整槽②が 9,000m に変更しています。）
		添付資料 5	6～7		
		依頼状	1		
3	高圧受電盤の受電容量等について	参考見積仕様書	9	参考見積仕様書に、「高圧受変電盤、動力制御盤を配置し、」とありますが、高圧受変電盤の受電容量は、添付資料5の施設計画平面図にある浸出水処理施設以外の管理棟、駐車場・維持管理者事務所等の分も見込む必要があると考えます。 そこで、管理棟、駐車場・維持管理者事務所等の概略電気容量をご教示いただけないでしょうか。 また、動力制御盤は、操作性と安全性を考慮して機器周辺のローカル側に配置したいと考えていますので、必ずしも電気室に配置しなくて宜しいでしょうか。	浸出水処理施設以外の施設の受電容量は、それらの施設の詳細が決まっていないためお示しできません。なお、クリーンプラザみやぎの契約電力量は 6,600V、665kVA（浸出水処理施設+事務所棟）ですので、これを参考に概略電気容量を設定して計画してください。 なお、上水引込ルート上にブースターポンプの設置が必要となる可能性がありますので、これを見込んだ電気容量としてください。（ブースターポンプの設置自体は別途工事。） 動力制御盤は電気室に配置しなくても問題ありません。運転員による操作の容易性や維持管理の容易性などを考慮し、最適な配置を計画してください。 （見積り徴収時は建築関係の実施設前推定の値でした。今回は、建築付帯施設や外構施設設計と調整を図り、必要な容量を設定してください。）
		添付資料 2	3		
4	後年の高度処理設備について	参考見積仕様書	9	参考見積仕様書に、「将来的なほう素濃度の増加を考慮し、施設建設当初は設置しないものの、後年の高度処理設備を増設するための空間を確保しておくこと。高度処理用の水槽のみ当初から整備することとする。」とあります。	後年の高度処理設備の主要機器は、砂ろ過器、活性炭吸着塔、ほう素用キレート吸着塔を想定して計画してください。砒素は凝集沈殿設備により除去できると想定していますので、砒素用キレート吸着塔は不要です。 計画放流水質は、後年の設備増設後も変わらないものとお考えください。
		添付資料 4	4	また、添付資料の参考処理フロー図には、将来用の水槽として、「ろ過原水槽、活性炭原水槽、キレート原水槽、吸着処理水槽」が記載されています。 以上から、「後年の高度処理設備」の主要機器は、砂ろ過塔、活性炭吸着塔、ほう素用キレート吸着塔のほか、砒素用キレート吸着塔と考えて宜しいでしょうか。	
		参考見積仕様書	4	なお、参考見積仕様書の計画放流水水質は、後年の高度処理設備増設後のものと考えて宜しいでしょうか。	

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
5	浸出水調整槽①ポンプの吐出量について	参考見積仕様書	19～20	浸出水調整槽①から浸出水調整槽②への浸出水移送量は、浸出水調整槽①へ自然流下で流入する日最大浸出水量を考慮して決定する必要があると考えます。 現状、浸出水調整槽①ポンプ-1から浸出水調整槽①ポンプ-3の吐出量について記述がないため、日最大浸出水流入量（m ³ /日）をご提示いただけないでしょうか。	浸出水調整槽①の各ポンプの能力は現在検討中のため、後に回答いたします。 （資料の基本設計報告書に発注者側の標準案を示しています。なお発注者案が必須ではなく、各社のノウハウによる技術提案による仕様変更を可とします。）
6	反応槽と第1混和槽の一体化について	参考見積仕様書	23	カルシウムスケールが発生する水槽の維持管理を容易にしたいと考えますので、反応槽と第1混和槽を、それらの機能を一体化させた反応混和槽に置きかえ、同時に、反応槽攪拌機と第1混和槽攪拌機を反応混和槽攪拌機に置きかえても宜しいでしょうか。	ご提案にお任せいたします。
7	汚泥脱水機手前での汚泥調質について	参考見積仕様書	34	汚泥反応槽、汚泥反応槽攪拌機の数量が、ともに「1」で、汚泥調質を汚泥脱水機手前で実施することになっていますが、汚泥脱水機の型式選定により、汚泥調質を汚泥脱水機内で行う場合は、それらの設置が不要となるので、数量を0（ゼロ）としても宜しいでしょうか。	ご提案にお任せいたします。
8	処理対象臭気について	参考見積仕様書	44	設置場所が、「流入調整槽」とありますが、流入調整槽からの発生臭気を、脱臭処理対象として宜しいでしょうか。	流入調整槽に加え、浸出水調整槽①および浸出水調整槽②からの発生臭気も脱臭処理対象とお考えください。 参考見積仕様書 p44 の設置場所の記載は「浸出水調整槽①、浸出水調整槽②、流入調整槽」に訂正します。
9	臭気物質濃度について	参考見積仕様書	44	「硫化水素等の臭気を脱臭するための装置を設置すること。」とありますが、処理対象となる発生臭気に含まれる臭気物質濃度（ppm）をご教示いただけないでしょうか。	硫化水素濃度 1,000ppm 程度を想定して計画してください。酸素欠乏症等防止規則（昭和四十七年労働省令第四十二号）に準拠し、硫化水素中毒の基準である 10ppm を超えないよう脱臭するものとして計画してください。 （R6.7.24 付け通知文書（資料：硫化水素ガス対策）で、浸出水流入水の臭気物質濃度の考え方を変更しています。）
10	全体配置図及び動線計画図の作成用 CAD データについて	参考見積仕様書	46	「全体配置図及び動線計画図」を提出させていただくためには、「添付資料2 造成計画平面図」のCADデータが必要と考えますが、ご提示いただけるでしょうか。	提供いたします。
		添付資料 2	2～3		
11	工事条件について	添付資料 2	2	造成計画平面図に示される浸出水調整槽②、浸出水処理施設の建設用地は、別途工事（埋立地造成工事）により計画地盤高FH=65.0mまで粗造成後、本工事へお引渡しいただけるものと考えて宜しいでしょうか。	添付資料 7 現況地形図に示すとおり、現地の現況はすでにFH=65.0m 程度に造成されているため、現況引き渡しとなります。
12	参考処理フロー図に記載のある浸出水調整槽の容量について	添付資料 4	5	参考処理フロー図には、浸出水調整槽容量として、浸出水調整槽1が20,300m ³ 、浸出水調整槽2が15,000m ³ と記載されていますが、最初の番号1の質疑と関連し、正しくは、浸出水調整槽1が15,000m ³ 、浸出水調整槽2が20,300m ³ ではないでしょうか。	質問番号 2 へのご回答と同じく、浸出水調整槽①が20,300m ³ 、浸出水調整槽②が 15,000m ³ で問題ありません。 （浸出水調整槽の容量は、第2回目見積徴収時、調整槽①が24,000m ³ 、調整槽②が 9,000m ³ に変更しています。）

新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 参考見積仕様書に係る質問回答書 その2

2023/6/26 公益財団法人宮城県環境事業公社、株式会社エックス都市研究所

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
1	計画処理能力	見積仕様書	3	日最大浸出水発生量についてご教示下さい。	大衡気象観測所における観測史上1位の日降水量239.0mm(2019/10/12)を用いて計算した結果、約 20,000 m ³ /日となります。 (資料の基本設計報告書を参照してください。)
2	計画原水水質	見積仕様書	4	ホウ素及びその化合物について、協定値を超える可能性があると思いますが、最大想定値をご教示下さい。	20mg/L程度を想定して計画してください。
3	放流先の場所と種類	見積仕様書	4	取合い箇所は添付資料2記載の下水道接続柵でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
4	放流水水質	見積仕様書	4	Ca ²⁺ 100mg/L以下とありますが、協定値ではなく目標値と理解してよろしいでしょうか。スケール防止剤のみでの運転時はCa ²⁺ は100mg/L以下を超えます。	ご理解のとおりです。
5	放流可能水量	見積仕様書	6	マスバランス上、薬品溶解水や洗浄水等を含めると350m ³ /日プラスアルファの放流量となる見込みですので、その増量分は許容されるものとして計画させていただきます。	質問回答書その1をご参照ください。
6	流入調整設備	見積仕様書	8	硫化水素等の臭気を捕集する設備を設けるとありますが、想定する硫化水素濃度をご教示下さい。	質問回答書その1をご参照ください。
7	流入調整設備	見積仕様書	8	硫化水素等の臭気を捕集する設備を設けるとありますが、安全上、浸出水調整槽①②に設備を設けるものと理解してよろしいでしょうか。	質問回答書その1をご参照ください。
8	関連諸室	見積仕様書	9	各諸室の必要床面積は、特に制約はなく各社提案と理解してよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
9	電気・計装設備工事	見積仕様書	13	別工事（管理棟、トラックスケール、維持管理者事務所等1式）の施設に必要な電気容量及び仕様をご教示下さい。なお、取り合いは浸出水処理施設に設置する受変電盤の端子台として計画させていただきます。	浸出水処理施設以外の電気容量及び仕様は質問回答書その1をご参照ください。 取り合いはご提案の内容で計画してください。
10	電気・計装設備工事	見積仕様書	13	後年に増設する可能性のある高度処理設備に係る電気容量を見込んで受変電設備の計画をするという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
11	水槽躯体工事	見積仕様書	13	地下コンクリート水槽は、建築基準にて計画設計を行ってよろしいでしょうか。	調整槽や浸出水処理施設の配置レイアウト案は添付資料2にお示ししたとおりですが、地下コンクリート水槽の上部に建屋がある場合は建築確認が必要になるため、建築基準に準拠し計画設計を行う必要があります。 (2024.3.20 第11回質問回答書の質問番号1を参照願います。)
12	水槽躯体工事	見積仕様書	13	硫化水素等に配慮した、コンクリート水槽の防食仕様をご教示下さい。	特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会・一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会による「最終処分場建設工事標準発注仕様書(浸出水処理施設編)」(2020年3月)のp63に記載の仕様を基本として計画してください。それ以上の仕様が適切と判断される場合はご提案ください。
13	建築工事	見積仕様書	13	水処理施設建屋は、鉄骨ALC構造とし、屋根形状は提案できるものと理解してよろしいでしょうか。また、地域係数、重要度係数をご教示下さい。	現時点で建屋の構造について特に指定はありません。屋根形状は各社のご提案にお任せします。 地域係数は、建築基準法施行令第八十八条第一項の規定に基づく値として1.0を、重要度係数はⅡ類の1.25を用いて計画してください。
14	給排水設備	見積仕様書	13	別工事施設で使用する上水用として、管理棟用給水設備を水処理施設内に設ける必要はございますでしょうか。またその場合、「タンク容量、水量等」をご教示下さい。	管理棟用給水設備は管理棟側に別途で設けることを想定していますので、浸出水処理施設側での設置は不要です。

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
15	外構工事	見積仕様書	13	外構工事は、水処理施設周辺のAs舗装程度とし、「駐車場、門工事、囲障工事等」が含まれないと理解してよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。駐車場、門工事、囲障工事等は処分場の本体工事における外構工事に含む方針です。アスファルト舗装の範囲は浸出水処理施設および浸出水調整槽②の周辺 6m 程度を想定して計画してください。アスファルトの舗装厚さは薬品注入車や収集運搬車の重量を考慮し、十分な強度を有するよう計画してください。
16	性能試験	見積仕様書	14	性能保証項目はP6～7記載の公害防止基準であり、その項目について確認するという理解でよろしいですか。また、一般的に行われる緊急作動試験も実施するものとして計画してよろしいでしょうか。	性能保証項目はご理解のとおりです。 （各社の技術提案が提出された場合は、その提案項目も含まれることになります。） 緊急作動試験は試運転または性能試験の一環として行うことを想定しています。
17	濃縮汚泥計量槽	見積仕様書	33	電磁流量計による流量計測を提案してもよろしいでしょうか。	ご提案にお任せします。
18	スケール防止剤貯槽	見積仕様書	41	設置の意図は原水カルシウム濃度が低く、アルカリ凝沈するまでもない場合に使用するためでしょうか。あるいは常時添加を想定されていますか。	常時添加を想定しています。 （スケール付着を防止するため、より効果的な運用方法等に関する技術提案も可とします。）
19	脱臭ファン	見積仕様書	44	臭気を捕集する対象水層は浸出水調整槽①、浸出水調整槽②、流入調整槽の3槽とした場合、距離の離れた浸出水調整槽①の脱臭ファン・脱臭装置は流入調整槽近傍への設置はできないと思います。その場合、分散設置を提案してもよろしいでしょうか。	対象水槽はご提示の 3 槽です。脱臭ファン・脱臭装置は分散設置することとし、浸出水調整槽①用として浸出水調整槽①付近に 1 台ずつ設置、浸出水調整槽②・流入調整槽用として浸出水処理施設付近に 1 台ずつ設置することを想定して計画してください。 （各社のノウハウによる技術提案を可とします。）
20	水処理施設 配置	添付資料 2		浸出水調整槽②（3000m ² ）及び水処理施設（1500m ² ）は、一体構造として計画できるものと理解してよろしいでしょうか。	一体構造として整備した方が合理的とのお考えであれば、一体構造で計画していただいて構いません。ただし、参考見積書は浸出水調整槽②の整備に係る費用を判別できるように作成してください。 （分離構造としてください）
21	水処理施設 配置	添付資料 2		水処理施設（GL+0＝FH65）の着工可能時期をご教示下さい。	令和 7 年度上半期頃の着工を想定しています。 （JV 内での施工時期の調整に従ってください）
22	水処理施設 配置	添付資料 2		敷地境界線をご指示下さい。	添付資料 6 に赤線で示すライン、添付資料 10 に黒線で示すライン、添付資料 11 に黒線で示すラインです。 （当時の添付資料を提示します。）
23	水処理施設 配置	添付資料 2		下水道放流升の大きさ及び取合レベル等をご教示下さい。	塩ビ製汚水用合流枡（枡径φ200）、取り合いレベルは管底高で GL－1000 程度を想定して計画してください。 （土木施設の設計図書を参照してください。）
24	区画埋立の説明	添付資料 3		浸出水調整槽①～浸出水調整槽②間の配管（400A×2条）について想定配管ルートをご教示下さい。	想定配管ルートは資料を別添します。 なお、配管の口径は変更する予定であり、現在検討中のため、後に回答いたします。 （発注者の想定ルートを提示します。また資料の基本設計報告書に、ポンプや送水量の発注者の標準案を示していますが、ポンプ能力や配管径の技術提案を拒むものではありません。）
25	区画埋立の説明	添付資料 3		送水管の1条は100%の能力と理解してよろしいでしょうか。また、1条当たりの流量をご教示下さい。	送水管の能力はご理解のとおりであり、1 条分は予備で、1 条で 100%の能力、2 条で 200%の能力となります。 流量は現在検討中のため、後に回答いたします。 （資料の基本設計報告書に、ポンプや送水量の発注者の標準案を示していますが、技術提案によりポンプ能力や配管径の技術提案を拒むものではありません。）

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
26	浸出水調整槽①	添付資料 4		複数分割の最初の槽のみ攪拌する計画でしょうか。	調整槽の攪拌の考え方はご理解のとおりであり、最初の 1 室を攪拌することを想定しています。 調整槽①の分割数、分割位置は現在検討中のため、後に回答いたします。攪拌する室の容量に応じて適切な攪拌機の数量をご提案ください。
27	浸出水調整槽②	添付資料 4		見積仕様書P20に攪拌できる装置との記載がありますので設置する計画としますか。あるいは添付資料4 参考処理フロー、添付資料5 浸出水調整槽構造図との整合を図り浸出水調整槽①のみ攪拌装置を設置しますか。	調整槽②の攪拌装置設置の記載は誤りです。添付資料のとおり、調整槽①にのみ攪拌装置を設置することとして計画してください。 (浸出水調整槽の攪拌機設置は、第2回目見積徴収時以降、調整槽②を必須としています。また調整槽①については浸出水の嫌気化対策等のため、各社のノウハウによる技術提案を可とします。)
28	浸出水調整槽① 概略構造図	添付資料 5		電動緊急遮断弁及び機械・電気類の工事着工可能時期についてご教示ください。	浸出水集排水管の設置後の施工となりますので、令和 9 年夏頃に着工可能となると想定しています。 (JV 内での施工時期の調整に従ってください。)
29	浸出水調整槽① 概略構造図	添付資料 5		水槽は3分割構造とし、水処理メーカ所掌にて配置計画を行うものと理解してよろしいでしょうか。	水槽の分割数は現在検討中のため、後に回答いたします。 浸出水調整槽①の施工は、処分場本体工事側の所掌となります。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
30	上水	添付資料 11		上水配管は、水処理施設所掌範囲外とございますが、水処理所掌範囲の「取合位置、配管口径、圧力、標高」をご教示下さい。	取り合い位置は添付資料 2 に記載の下水道接続枡付近を想定しています。 取り合い位置～浸出水処理施設間の配管口径はφ25、圧力は200kPa、標高は64.0m 程度を想定して計画してください。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
31	がけ条例	その他		がけ条例の適用は受けないものと理解してよろしいでしょうか。	がけ条例は適用されないものとして計画してください。
32	残土置き場	その他		掘削残土は場内処分できるものと理解してよろしいでしょうか。またその場合、残土置き場の位置をご教示下さい。	掘削により生じる残土は場内で有効活用する方針です。残土置き場の想定位置は資料を別添します。 (残土は、覆土置場に保管してください。)
33	全体の工程計画	その他		別工事の工事工程表を開示願います。詳細未定の場合、別工事からの工程への影響はないものとして計画します。	別工事の詳細が未定であるため工事工程表は開示できません。 土木工事や建築工事などが近接して施工が行われることとなります。施工にあたっては、連絡協議会を設置し、調整しながら施工する必要があります。
34	水張試験用水	その他		コンクリート水槽の水張試験用水は、有償にて上水を用いることができるものと理解してよろしいでしょうか。また、排水先をご教示ください。	水張試験用水は受注者負担で上水を用いるものとして計画してください。排水先は、下水道または浸出水調整槽①の隣の防災調整池を想定して計画してください。 (水張試験用水は、井戸水や防災調整池の水を想定していますが、別途提案も可とします。)
35	添付資料	その他		全体配置図等のCADデータを開示願います。(添付資料2, 3, 5)	提供します。
36	見積仕様書	その他		電子データ (Word) をご提供願います。	提供します。
37	仮設事務所	その他		仮設事務所の想定設置場所をご教示ください。	工事用の仮設事務所であれば、未定です。敷地内に無償で設置できるものと想定して計画してください。 維持管理用の仮設事務所であれば、添付資料 2 に示す駐車場・維持管理者事務所等の位置を想定しています。 (事業地内の余地使用であれば、受注後公社まで相談ください。)

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
38	地中障害物	その他		万が一地中障害物があった場合、その対策費用等は発注者負担として計画させていただきます。	ご理解のとおりです。
39	非常用発電機	その他		非常用発電機は不要でしょうか。	外部電源を喪失した場合であってもただちに職員や周辺環境に重大な影響が及ぶものではないと考えますので、不要とします。ただし浸出水調整槽①ポンプは、可搬式の外部電源を接続し、運転が可能となる仕様として計画してください。

新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 参考見積仕様書に係る質問回答書 その3

2023/6/29 公益財団法人宮城県環境事業公社、株式会社エックス都市研究所

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
1	添付資料	その他		【先行で提供願います】 浸出水調整槽及び平面図のCADデータの提供願います。	質問回答書その1をご参照ください。
2	見積仕様書	その他		【先行で提供願います】 参考見積書のワードデータを提供ください。	質問回答書その1をご参照ください。
3		その他		既存水処理施設の流入水質データ、処理フローを提供可能であればお願いします。	流入水質データは、公社ホームページで公開されている「新産業廃棄物最終処分場整備基本計画」（令和4年9月）のp88～102に、クリーンプラザみやぎ第3埋立地の平成18年～令和2年の原水水質データが掲載されていますので、そちらをご参照ください。 処理フローは、別添するパンフレットをご参照ください。
4	機械仕様について	参考見積仕様書		添付資料4のフローシートに準じた機械仕様となっているため、適宜変更して構わないでしょうか。	見積仕様書P32) 処理方式及び添付資料4の水処理フローを基本とし、そこから大きく外れなければ適宜変更していただいて構いません。
5	浸出水調整槽の運用について	参考見積仕様書	8	各浸出水調整槽の運用について、どのように考えているか教示ください。 例 浸出水調整槽①：常用 浸出水調整槽②：非常用 また、フローシートには1槽目のみ攪拌機が設置されていますが、同様の考えで良いでしょうか。	調整槽の運用方式は現在検討及び協議中のため、後に回答いたします。 攪拌機の設置位置は、質問回答書その2をご参照ください。 （資料の基本設計報告書に発注者側の標準案を示しています。なお、各社のノウハウによる技術提案を求めます。）
6	薬品注入設備	参考見積仕様書	9	使用薬品量を算定するに当たり、既設水処理施設で使用されている薬品の種類を提示ください。	現在は見積聴取段階であり、新処分場で使用する薬品の指定は行いません。各社の知見に基づく提案をお願いします。
7	管理設備	参考見積仕様書	9	維持管理者事務所がすぐ脇に計画されていますが、シャワー室、更衣室などは、水処理施設側に設置することで間違いないでしょうか。	シャワー室、更衣室等の関連諸室は水処理施設内への配置で間違いありません（水処理施設操作員専用の設備です。）
8	機器の据付等	参考見積仕様書	17	ポンプと配管との接続は、フランジ方式を標準とするとありますが、自動接続型が一般的に採用されているので変更して宜しいでしょうか。	自動接続型で計画していただいて構いません。
9	流入調整設備・緊急遮断弁	参考見積仕様書	19	形式は電動バタフライ弁とありますが、土木工事側配管とのフランジ取合いで考えれば宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
10	脱臭設備	参考見積仕様書	44	近年は脱臭設備の設置事例がないため、選定に当たり、硫化水素の原臭濃度を提示ください。	質問回答書その1をご参照ください。
11	参考処理フローシート	添付資料4		将来設備に砂ろ過、活性炭、キレート（ホウ素吸着塔？）とありますが、活性炭吸着塔はCOD対策でしょうか。 また、ホウ素についてはどの程度の水質条件で機械設置スペースを確保すれば宜しいでしょうか。	将来設備に関しては全くの未定です。今回見積対象範囲は、将来増設時に手戻りを生じさせないためのスペース確保等、最低限の対応です。
12	浸出水調整槽構造図	添付資料5		参考処理フローシートには、3槽に区分されておりますが、構造図のどの位置に間仕切りの壁があるのか提示ください。（攪拌機の選定に必要なため） また、浸出水調整槽②は全地下水槽とする必要はありますか。 ボーリングNo.7の支持層から推察すると、半地上型として支持層に乗るような形状の方が安価になると推測されます。	調整槽の仕切りの数及び配置は現在検討中のため、後に回答いたします。 浸出水調整槽②を必ずしも全地下水槽とする必要はなく、半地下型水槽で計画していただいて構いません。安価で合理的となるよう計画してください。 （浸出水調整槽①・②の構造は、土木施設の工事設計図書を参照してください。）
13		添付資料5		モニタリング設備は別途と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
14	地質調査結果について	添付資料 8		提供頂いている BP.6、BP.7 以外の調査点での柱状図及び地質調査報告書の提供ください。 また、支持層の傾斜が大きいため、地質調査地点を配置図にプロットして頂けませんか。	BP.6、BP.7 以外の柱状図は提供します。地質調査報告書は未完成のため提供できません。 地質調査地点をプロットした図は添付資料 8 をご参照ください。 (資料集の地質調査報告書を参照願います。)
15		添付資料 11		電気引込箇所から構内への配線ルート（搬入道路部）は、架線で積算すれば宜しいでしょうか。	ご理解のとおり、架空での引き込みとして計画してください。
16	高圧受電について	添付資料 11		浸出水処理施設にて一括受電し、変圧後に各所供給となりますか。その場合、概算で構いませんので各所の所要電力を提示ください。 また、配線接続工事は各々の工事に対応することで宜しいでしょうか。	ご理解のとおり、高圧で一括受電し、変圧後に各所供給することを想定しています。各所の概算所要電力については、質問回答書その 1 をご参照ください。 配線接続工事は、ご理解のとおりです。
17		添付資料 11		上水道は、別途工事で敷設し水処理施設近傍での取合いと考えれば宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
18		その他		浸出水処理施設及び浸出水調整槽②ヤードの引き渡し条件はどのような形になりますか。 仮設工事の積算に必要となる諸条件を提示ください。	引き渡し形状は、質問回答書その 1 をご参照ください。引き渡し時期は、契約後ただちに引き渡すことを想定しています。 仮設工事の積算に要する諸条件は、次のとおりの想定で計画してください。 ・現況（FH＝65.0m 程度）引き渡し。 ・東側（添付資料 2 上側）の切土法面に干渉する部分は土留め掘削、それ以外の箇所についても風化した砂質系であり、ボーリングデータ等を参考に掘削深と安定勾配から判断願います。 ・管理棟等の別工事と施工時期によっては干渉する可能性があります。 (第 1 回見積徴収時は、浸出水調整槽の水槽建設工事も水処理施設工事の施工対象範囲としていましたが、第 2 回見積徴収時に水処理施設工事の対象外となりました。)
19		その他		上屋の構造仕様がありませんが任意として宜しいでしょうか。	ご提案にお任せします。
20		その他		水処理施設について、重要度係数の指定はありますか。	質問回答書その 2 をご参照ください。
21		その他		各水槽の防食仕様は提案で宜しいでしょうか。	質問回答書その 2 をご参照ください。
22		その他		浸出水処理施設の周囲にある法面は、崖条例基準に満足しているものと考えれば宜しいでしょうか。	質問回答書その 2 をご参照ください。
23		その他		造成引き渡し地盤を提示ください。	質問回答書その 1 をご参照ください。
24		その他		建設中に発生する残土は、場内仮置き可能でしょうか。	質問回答書その 2 をご参照ください。
25		その他		水処理施設の設計GLは65.0mでよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
26		その他		外構工事の所掌範囲は周囲のAs舗装を見込めば宜しいでしょうか。	質問回答書その 2 をご参照ください。
27	浸出水調整槽の攪拌方式について	その他		カルシウムイオン濃度が 1000mg/L で設計されそれほど高い値ではないので、硫化水素対策として空気攪拌としてはどうでしょうか。 既存施設は空気攪拌のようではありますが、スケーリングの影響はありますか。	攪拌形式は、各社のご提案にお任せします。見積仕様書 P19 に記載のとおり、カルシウムスケール及び硝化細菌などによる水質悪化を招かないことを前提として計画してください。
28		その他		既設水処理施設における維持管理上の主な課題点があれば、積算時に留意して計画を行いますので教示ください。	今回整備するのは新処分場の新たな水処理施設です。そこで各社の知見により課題を予測し、そのための提案をお願いします。

新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 参考見積仕様書に係る質問回答書 その4

2023/6/29 公益財団法人宮城県環境事業公社、株式会社エックス都市研究所

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
1		参考見積仕様書	3	想定される脱水汚泥の搬出車両の積載量をご教示願います。	4 t 車を想定していますが、その他も提案可とします
2		参考見積仕様書	9	管理設備について記載がありますが、これらは水処理施設内に設けて、管理棟や維持管理者事務所などの施設は、工事範囲外との理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
3		参考見積仕様書	9	水処理施設と他施設（管理棟や維持管理事務所など）との建築設備（電話設備や放送設備）の接続はないとの理解で宜しいでしょうか。	水処理施設内の管理室と管理棟及び維持管理事務所との間は、電話及び放送を含め、緊急時の連絡が取れる仕様として計画してください。
4		参考見積仕様書	11	雨水排水について特に記載がありませんが、造成工事にて水処理施設近くに雨水枥が設置され、屋根等の雨水排水は、そちらに接続するとの理解で宜しいでしょうか。外構図等がありましたら、ご教示ください。	雨水排水の接続についてはご理解のとおりです。 外構図等は未作成のため提供できません。 (外構図は、土木施設の工事設計図書を参照してください。)
5		参考見積仕様書	13	2配管設備工事において「浸出水調整槽①以降の屋外配管は含む」とありますが、浸出水調整槽①から水処理施設へ接続する屋外配管との理解で宜しいでしょうか。その屋外配管の場合、浸出水調整①との配管取り合い点等、ご教示ください。	浸出水調整槽①～浸出水調整槽②～浸出水処理施設の配管は屋外配管で計画してください。 浸出水調整槽①ポンプ以降の配管はすべて本工事の所掌のため、取り合い点はありません。
6		参考見積仕様書	13	浸出水調整槽②の設計については、特に記載がありませんので、建築基準に基づいた構造設計を行うということで宜しいでしょうか。	浸出水調整槽②の設計に伴う建築基準の適用に係る考え方については、質問回答書その2をご参照ください。 (2023.6.29 質問回答書その3の質問番号18を参照願います。)
7		参考見積仕様書	13	掘削残土の搬出先の指定等がありますでしょうか。	質問回答書その2をご参照ください。
8		参考見積仕様書	13	第2章工事範囲 4.土木・建築工事 6) 外構工事 とありますが、外構工事はどの範囲が対象となるか、ご教示下さい。	質問回答書その2をご参照ください。
9		参考見積仕様書		参考見積仕様書のWordデータを頂けませんでしょうか。	質問回答書その2をご参照ください。
10		添付資料1		計画の参考のため、建設予定地および既存施設（浸出水処理施設）を見学させて頂くことは可能でしょうか？	現地は用地買収が未了であり、かつ現在の土地所有者である採砂業者が掘削・運搬を継続中のため、今回は建設予定地の見学は行わないこととします。 (見積り期間を対象とした回答)
11		添付資料2		造成計画平面図のCADデータを頂けないでしょうか。	質問回答書その1をご参照ください。
12		添付資料2と添付資料3の間の資料		外構工事の範囲について図示頂けないでしょうか？	資料を別添します。 (外構図は、土木施設の工事設計図書を参照してください。)
13		添付資料5		浸出水調整槽①は区分する予定でしょうか？そうであれば攪拌を要する水槽の範囲を図示願います。	質問回答書その2をご参照ください。
14		添付資料10		アクセス道路について、新幹線高架下を通過するルートとなっておりますが、工事用大型重機の搬出入において、高さ制限等、交通上の規制等がありますでしょうか。	現況は高さ制限 3.8m となっております。進入路となる町道に車両規制はありませんが、復員が狭いための配慮は必要です。 (アクセス道路計画は、土木施設の工事設計図書を参照してください。)
15		添付資料11		上水引込ルートについては対象外となっておりますが、水処理施設への上水引込の取り合い点をご教示下さい。	上水の取り合い点等については、質問回答書その2をご参照ください。
16				浸出水調整槽①概略構造図等の各添付資料について CAD データを頂けませんでしょうか。	質問回答書その2をご参照ください。
17				処理棟の上屋の構造形式は、鉄筋コンクリート造、鉄骨造等ご指定はございますでしょうか。	質問回答書その2をご参照ください。
18				管理棟に必要な電源仕様をご教示願います。	質問回答書その1をご参照ください。

新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 参考見積仕様書に係る質問回答書 その5

2023/7/4 公益財団法人宮城県環境事業公社、株式会社エックス都市研究所

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
1	放流可能水量	参考見積仕様書	6	放流可能水量が350m ³ /日となっていますが、時間当たりの放流制限はありますでしょうか。	放流先の下水道施設には圧送用ポンプが設置されます。よって時間当たり最大放流量は 350m ³ /日÷24 時間を目安にしてください。
2	騒音に関する基準値	参考見積仕様書	7	都市計画区域外のため騒音規制法の指定地域に該当しないものと考えてよろしいでしょうか。	宮城県公害防止条例が適用されますので、見積仕様書 P7 に記載の規制基準値を満足するよう計画してください。 (同内容は水処理施設発注仕様書の P7 に記載。)
3	管理設備	参考見積仕様書	9	水処理施設の処理棟内に(11)管理設備（①管理室、②電気室、③関連諸室）を含む配置すると考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
4	管理設備	参考見積仕様書	9	「（電気室の）配線はピット方式とする。」とありますが、構造負荷低減のため、OAフロアによる床下配線としてもよろしいでしょうか。	各社のご提案にお任せします。
5	地形・地質等	参考見積仕様書	11	建設予定地は、土壌汚染等はないと考えてよろしいでしょうか。 土壌汚染等があった場合の対策にかかる工期、費用等は発注者殿にて負担していただけたと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
6	地形・地質等	参考見積仕様書	11	追加土質調査（ボーリング調査等）を実施して、添付資料8と追加土質調査結果に差異があった場合、追加費用や工期延長については発注者殿にて負担していただけたと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
7	都市計画事項	参考見積仕様書	11	本工事の敷地範囲（工事範囲）をご教示いただけないでしょうか。	質問回答書その 2 及び別添資料をご参照ください。 (工事設計図書を確認願います。)
8	都市計画事項	参考見積仕様書	11	確認申請の敷地範囲は上記にて示していただいた範囲と同じと考えてよろしいでしょうか。また、開発行為等の事前協議等は造成工事側にて行っていただけたと考えてよろしいでしょうか。	確認申請の敷地範囲はご理解のとおりです。 受注者との契約前の開発行為等の事前協議等は公社にて行います。契約後の協議等は受注者主体で行ってください。 (建築施設の工事設計図書を確認願います。)
9	電気	参考見積仕様書	11	「北側よりkV【6.6】架空を引き込む」との記載がありますが、「架空を引き込む」とは受電点から電気室までの電路を架空配線にて布設するものと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。 (構内第 1 柱～受電盤間は地中埋設、受電盤～水処理施設は架空配線となります。)
10	電話	参考見積仕様書	11	「北側より架空を引き込む」との記載がありますが、「架空を引き込む」とは受電点から管理棟までの電路（空配管）を布設するものと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
11	敷地周辺設備	参考見積仕様書	11	雨水排水の取り扱い点について、ご教示いただけないでしょうか。	埋立地東側に隣接した平場の外周に側溝を配置するものと想定して計画してください。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
12	試運転期間	参考見積仕様書	12	試運転期間の最低必要日数のご指定があればご教示いただけないでしょうか。	試運転期間の必要日数の指定は行いません。工事期間内に実施するものとし、必要日数の設定は各社のご提案にお任せします。
13	運転指導	参考見積仕様書	12	運転指導期間をご教示いただけないでしょうか。	試運転期間と同様、運転指導期間の指定は行いません。施設に配置される機器の種類や維持管理等を勘案し、必要日数を設定してください。
14	電気・計装設備工事	参考見積仕様書	13	受電点からの配線ルートおよび浸出水処理施設廻りの外構における高圧引込以外の配線工事の有無についてご教示いただけないでしょうか。（外灯、監視カメラ等）。	受電点からの配線ルートは添付資料 11 をご参照ください。 浸出水処理施設廻りの外構の配線工事は、今回の見積仕様書においては、工事範囲外とします。 (外灯、監視カメラ等施設については、建築施設の工事設計図書を参照してください。)
15	電気設備	参考見積仕様書	13	浸出水処理施設以外の管理棟、維持管理者事務所、計量設備、外灯などへの受変電盤以降の配線配管工事は別途工事と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
16	計装制御設備	参考見積仕様書	13	浸出水処理設備以外の屋外に I T VやWE Bカメラ等の計装工事は無いと考えてよろしいでしょうか。	詳細は未定ですが、設置する可能性もあります。 (監視カメラ等施設については、建築施設の工事設計図書を参照してください。)
17	土木・建築工事	参考見積仕様書	13	本見積の土木・建築工事において、管理棟、駐車場・維持管理者事務所等は工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
18	土木・建築工事	参考見積仕様書	13	(3) 建築付帯電気設備工事について必要な設備をご教示いただけないでしょうか。 例) ①電灯・コンセント ②電話 ③放送 ④インターホン ⑤インターネット	運転管理に求められる設備として、各社のご提案をお願いします。
19	土木・建築工事	参考見積仕様書	13	インターネット設備が必要な場合、建設予定地はインターネットの引き込みに問題ないサービスエリアでしょうか。	インターネット設備は必要と考えていますが、インターネットの引き込みに問題があるかどうかは通信会社に申込み後に判断となるため、現段階では確認できません。今回は問題ないものと想定して計画してください。
20	土木・建築工事	参考見積仕様書	13	外構工事の範囲についてご教示いただけないでしょうか。 「添付資料2 造成計画平面図」の計量前待機所等※、駐車場の工事は本見積における工事範囲に含まないと考えてよろしいでしょうか。 ※以下の工事 ・計量前待避所 ・荷台カバー取り外し・展開検査等スペース ・トラックスケール ・搬入業者用トイレ	質問回答書その2をご参照ください。
21	性能試験	参考見積仕様書	14	性能試験の該当項目をご教示いただけないでしょうか。	質問回答書その2をご参照ください。
22	性能試験	参考見積仕様書	14	本施設は新設工事のため、工期内に浸出水が発生しないと想定されます。性能試験は工期外に行うものと考えてよろしいでしょうか。	工期内の浸出水の発生はないため、工期内の性能試験は水張試験の実施を想定しています。工期外の性能試験は「浸出水が計画原水水質に概ね達したとき」、「施設引渡後2年以内」のいずれか早い時期での実施を想定しています。
23	沈砂ポンプ	参考見積仕様書	19	浸出水調整槽①での沈砂ポンプの設置位置、沈砂槽があればその構造をご教示いただけないでしょうか。	検討中のため、後日回答します。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
24	浸出水調整槽① ポンプ-1	参考見積仕様書	19	浸出水調整槽①ポンプー1の吐出量(m³/min)(最大浸出水量m³/日)をご教示いただけないでしょうか。	各ポンプの能力については、質問回答書その1をご参照ください。
25	浸出水調整槽②	参考見積仕様書	20	1槽となっていますが、添付資料4フロー図、添付資料5の概略構造図では2槽分割となっています。2分割するという考えでよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。2分割を想定していますが、分割数や各槽の面積などご提案により変更可とします。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
26	流入調整設備	参考見積仕様書	22	浸出水調整槽の運用の優先順位は浸出水調整槽①すべて満水、②の順でと考えてよろしいでしょうか。 浸出水調整槽①を3分割する場合、渇水期は浸出水調整槽①1室→流入調整槽へ送水、豊水期は浸出水調整槽①1室→浸出水調整槽②へ送水という考え、浸出水調整槽①からの送水先は自動で切り替えるにすることでしょうか。それとも手動でよろしいでしょうか。	調整槽の運用方式については、質問回答書その3をご参照ください。
27	汚泥ホッパ	参考見積仕様書	35	汚泥搬出車両は、見積範囲外と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
28	炭酸ソーダ自動 溶解装置	参考見積仕様書	36	防液堤内に設置しなくてもよいと考えてよいでしょうか。	各社のご提案にお任せします。
29	凝集助剤自動溶	参考見積仕様書	39	防液堤内に設置しなくてもよいと考えてよろしいでしょうか。	各社のご提案にお任せします。

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
	解装置				
30	浸出水調整槽②	添付資料 2		浸出水調整槽②の上部には、車両の横行・駐車はないものと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
31	緊急遮断弁	添付資料 5		緊急遮断弁（電動）の設置個所は、ピット内と推察しますが、ピット工事は別途工事と考えて良いでしょうか。ピットの構造をご教示願います。 また、上流側に手動元バルブ、バイパス配管やバイパスバルブは必要ないと考えてよろしいでしょうか。	緊急遮断弁を設置するピットは別途工事の所掌とします。ピットの構造は検討中のため、後日回答します。 手動元バルブ、バイパス配管、バイパスバルブ等は必要と考えますが、今回の見積仕様書においては、工事範囲外とします。 （ピット構造は、土木施設の工事設計図書を参照してください）
32	浸出水調整槽①	添付資料 5		フロー図では3分割となっていますが、概略構造図では分割箇所が提示されていません。3分割とする場合、分割位置をご教示いただけないでしょうか。	調整槽①の分割数については、質問回答書その 2 をご参照ください。
33		添付資料 5		浸出水調整槽② 概略構造図は参考とし寸法の変更は可能と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。 （当時は概略設計時の回答でしたが、現在が詳細設計が完了しています。施設の構造変更が必要となる場合は、契約後に、土木施設の施工者を交えての協議が必要となります。）
34		添付資料 5		浸出水調整槽②含め地下水槽の構造は、建築仕様と考えてよろしいでしょうか。	地下水槽は土木仕様となります。ただし複合構造となる場合は、建築確認も必要となります。 （2024.3.20 第 11 回質問回答書の質問番号 1 を参照願います。）
35		添付資料 11		上水は対象外の旨記載されていますが、水処理施設に送水するための給水ユニット用電気設備についても見積範囲外と考えてよろしいでしょうか？	見積範囲外とします。
36		添付資料 11		上水ブースターポンプの負荷容量(kW)と設置場所（配線亘長）についてご教示いただけないでしょうか。	負荷容量は 7.5kw 程度を想定して計画してください。設置場所は未定です。ブースターポンプの設置工事およびその配線工事は別途工事の所掌とします。
37	引渡し条件			引渡し条件をご教示いただけないでしょうか。	質問回答書その 1 をご参照ください。
38	保証期間			保証期間をご教示いただけないでしょうか。	引き渡し後 2 年間とします。 （水処理施設発注仕様書を確認してください。）

新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 参考見積仕様書に係る質問回答書 その6

2023/7/21 公益財団法人宮城県環境事業公社、株式会社エックス都市研究所

番号	質疑項目	対象資料	頁	質疑内容	回答
1	浸出水調整槽①	浸出水調整槽① 概略構造図		流入配管の向きが変更になっているようですので、最新の造成計画平面図 CADデータをご提供願います。	提供いたします。
2	浸出水調整槽①	浸出水調整槽① 概略構造図		浸出水調整槽①概略構造図のCADデータをご提供願います。	提供いたします（7/19 送付済み）。
3	浸出水調整槽①	浸出水調整槽①		バルブピットは必要に応じて施工可能な大きさを提案させていただきます。	ご提案にお任せいたします。 （ピット構造は、土木施設の工事設計図書を参照してください。）
4	浸出水調整槽①	概略構造図		流入ゲート（電動）2基は追加という認識でよろしいですか。	見積範囲内とします。ただし、追加に伴い期限内の提出が困難となる場合は、別途ご相談し協議することといたします。
5	浸出水調整槽①	浸出水調整槽①		地下水監視用ポンプ1基は追加という認識でよろしいですか。また、必要能力をご教示ください。	見積範囲外とします。 （地下水監視ポンプは、第2回見積もり徴収時に追加となっています。）
6	浸出水調整槽①	概略構造図		浸出水調整槽①(1)には攪拌機が複数個所点在する計画です。そのため、必要に応じてマンホール位置の変更を提案させていただきます。	ご提案にお任せいたします。 （変更が必要となる場合は、契約後に、土木施設の施工者を交えての協議が必要となります。）
7	浸出水調整槽①	浸出水調整槽①		同上計画に関係し、メンテナンス用のRC構造物をFH＝48.1まで複数立ち上げるのは合理的ではないと思います。必要に応じRC構造物の範囲を拡大する提案をしてよろしいですか。また、その場合RC構造物の上には軽量盛土をしない計画としてよろしいですか。	RC 構造物の範囲を拡大する提案をしていただいても構いません。 （土木施設の工事設計図書を参照してください。）
8	浸出水調整槽①	概略構造図		集排水管位置については埋立地の計画図（添付資料3 区画埋立の説明の最新版があればそれを） ご提供願います。	提供いたします。 （土木施設設の工事計図書を参照してください。）
9	浸出水調整槽①	浸出水調整槽①		集排水管高さについては集排水管の断面図があればご提供願います。 （調整槽の水位が当初図から0.5m上がっているので、集排水管の取合いレベルも変わっていると思われます。）	断面図はありません。埋立地底部の高さを調整したため、集排水管取合いレベルも変わりました。HWL38.5m が集排水管取合い部の管底高さとなる計画です。 （土木施設の工事設計図書を参照してください。）
10	浸出水調整槽①	回答保留事項の 回答		浸出水調整槽①ポンプの必要能力は1台当たり1368 m ³ /d＝0.95 m ³ /min との認識でよろしいですか。	ご理解のとおりです。 （2023.6.26 質問回答書その1の質問6のとおりです）
11	浸出水調整槽①	調整槽周り設備、配管フロー図		調整槽周り設備、配管フロー図には流入調整槽攪拌機がありませんが、仕様書P22記載の通り設置するのが正でしょうか。	設置するのが正です。

第7回 新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 建設工事 質問および提案書

2024/3/13

公益財団法人 宮城県環境事業公社

[illegible]

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
1	敷地面積	参考見積仕様書 第1章第1節-4-1)	3		敷地面積の敷地境界線の位置は添付資料8地質調査結果の地形図に示された赤色線の内側との理解でよろしいでしょうか。	その通りです。 (添付資料8の赤枠は、今回添付資料の下水道放流ルート図の赤線で囲われた範囲と同様になります。)
2	工期	参考見積仕様書 第1章第1節-5	3		本工事業所掌区分内の工事において、各エリアごとの着工可能時期が判別できる全体工程表を開示頂けないでしょうか。	各エリアとも着手可能となっています。なお、実際にどの施設から着工するかについては、工事受注者の施工計画によるものと考えます。(ただし建築物については、建築確認申請後の着手となります。)
3	工期	参考見積仕様書 第1章第1節-5	3		本工事は4週8閉所が必須条件ではないものと考えてよろしいでしょうか。	週休2日モデル工事の適用は考えていません。「働き方改革関連法」などの関係法令等に従ってください。
4	設計条件	参考見積仕様書 第1章第2節-1	4		ホウ素及びその化合物の浸出水濃度について、20mg/L程度を想定し将来設備の設置スペースを計画するものと理解してよろしいでしょうか。	参考見積仕様書では、ホウ素及びその化合物の計画原水水質を10mg/Lとしています。が、将来の上昇量については、現処分場の近年の水質観測結果から想定してください。
5	設計条件	参考見積仕様書 第1章第2節-1	4		日最大浸出水流入量(m3/日)をご提示ください。	2023/6/26回答書その2、質問番号1のとおり、約20,000m3/日となります。 (参考:基本設計報告書の図3.3.25のグラフに示される10月の赤色線の立ち上がり幅として表現しています)
6	浸出水計画処理能力	参考見積仕様書 第1章第2節-1-1)	4		放流量350m3/日以下の「日」の考え方は、各日の0時から24時までとしてよろしいでしょうか。	その通りです。
7	浸出水計画処理能力	参考見積仕様書 第1章第2節-1-1)	4		下水道への放流について、時間や時刻の制限はないものと考えてよろしいでしょうか。	その通りです。(ただし、基本設計報告書の「5-(5)-③ 処理施設の検討」に記載している下水道施設の処理能力を超過しないようにしてください)
8	放流先の種類と場所	参考見積仕様書 第1章第2節-2-1)-(2)	7		添付資料6に示された放流配管新設との取合の詳細な位置を添付資料11敷地周辺位置図などにお示しください。	図面により提示します。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
9	放流先の種類と場所	参考見積仕様書 第1章第2節-2-1)-(2)	7		添付資料6に示された放流配管新設との取合位置の口径、管種、接続方式、深さ、構造(直接埋設やピット等)の仕様をお示しください。また取合点にピット等を設ける場合には本見積の所掌の区分についてもお示しください。	下水道放流管は、基本設計報告書の「5. 浸出水処理施設」の「(5) 浸出水処理放流方式の検討、③放流施設の設計」のとおり、管径200mmを計画しています。 なお、取合点のピットは、詳細設計中につき見積図書作成にあたっては、2023/6/26回答書その2、質問番号23のとおりとしてください。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
10	放流可能水量	参考見積仕様書 第1章第2節-2-1)-(3)	7		下水道への放流について、ご提示の条件以外に時間あたり等の放流量の制限はないものと考えてよろしいでしょうか。	質問7への回答と同じ。
11	騒音に関する基準値	参考見積仕様書 第1章第2節-2-2)	8		敷地境界とは、3頁 第1章 第1節 4. 1)敷地面積の敷地境界と同様と考えてよろしいでしょうか。3)騒音に関する基準値、4)悪臭に関する基準値も同様。	その通りです。
12	排水	参考見積仕様書 第1章第2節-4-4)-(4)	12		水処理施設内から発生する生活排水や水洗便所の汚水は、直接取合い箇所下水道放流枡へ排出できるものと理解してよろしいでしょうか。	その通りです。
13	浸出水調整槽①ポンプ	参考見積仕様書 第3章第2節-2-(3)	21		浸出水調整槽①ポンプ-1, -2について、緊急時「5472m3/日以上」(※基本設計報告書より抜粋。)を浸出水調整槽①～浸出水調整槽②へ複数台を用いて送水できる汎用性のある水中ポンプを計画するものと考えてよろしいでしょうか。	基本設計報告書に示すとおり、非常時にポンプを最大4台運転、配管は2条設置の常時1条の交互使用、非常時2条の同時使用を発注者側の標準案としています。 なお、二つの浸出水調整槽の運用やポンプの運転操作方法の助言を含め、各社のノウハウによる技術提案による仕様変更を可とします。(発注者案が必須条件ではありません)
14	浸出水調整槽①ポンプ	参考見積仕様書 第3章第2節-2-(3)	21		浸出水調整槽①ポンプ-1, -2について、各水槽からポンプ1台で「0.208m3/min(300m3/日)」を浸出水調整槽①～浸出水調整槽②へ送水できる汎用性のある水中ポンプを計画するものと考えてよろしいでしょうか。 また、緊急時においては、選定したポンプ4台にて送水できる流量は成行き流量とし、送水配管口径は300Aから成行き流量値を用いて見直しを行えばよろしいでしょうか。 その際は、基本設計報告書にある「緊急時:5472m3/日」は、満足できないものとします。	質問13への回答と同じ。なおポンプ吐出量の0.208m3/minは、発注者が示す最低限の水処理量300m3/日に対応した値であり、水処理量300m3/日以上とする場合は、それに対応した能力としてください。

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
15	地下水排水ポンプ	参考見積仕様書 第3章第2節-2-(8)	23		必要水量及び必要揚程及び排水先についてご教示下さい。 また、当該ポンプの運転条件等をご指示下さい。	地下水集排水管は、FH=30.8mで地下水流入ピットに流入し、吐き出浸出水調整槽①のHWL=46.3mとなるため、揚程は15.5m程度となります。また、埋立て地の地下水位は低く、地下水量を0.1㎥/minとしてください。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
16	下水道放流ポンプ	参考見積仕様書 第3章第6節-(2)	34		下水道放流升の大きさ及び取合位置及び取合いレベル等をご教示下さい。	質問9への回答と同じ。
17	脱臭設備	参考見積仕様書 第3章第10節	45		「硫化水素等の臭気を脱臭するための装置を設置すること。」とありますが、処理対象となる発生臭気に含まれる臭気物質濃度は、1000ppm程度を想定すればよろしいでしょうか。	2023/6/26回答書その1、質問番号9のとおり、1,000ppmにより見積図書の作成をお願いします。 なお今後の工事公告時には、水質試験データ(ヨウ素消費量)等と各社のノウハウによる技術提案を可とします。 (R6.7.24付け通知文書(資料:硫化水素ガス対策)で、浸出水流入水の臭気物質濃度の考え方を変更しています。)
18	構造	参考見積仕様書 第3章第7節-(10)-6)⑤	37		汚泥運搬車の納入は本見積の範囲内と考えてよろしいでしょうか。	範囲外となります。
19	洗車機	参考見積仕様書 第3章第12節-(1)	46		洗車機の設置や使用の場所としてホッパ室内を想定すればよろしいでしょうか。	洗車機は、水処理棟内のいずれかに設置してください。(ホッパ室内でも可となります)
20	形式	参考見積仕様書 第3章第12節-(1)-1)	46		洗車機の仕様は高圧洗浄機として手動でガン・ノズルにて洗浄するものと考えてよろしいでしょうか。	参考見積仕様書P46に示した仕様に基づき、洗車設備の提案をお願いします。自動・手動の方法採用に関する提案には制限を設けません。
21	土木・建築設備	参考見積仕様書 第4章第2節	48		本工事において、As舗装や雨水側溝などの外構工事は全て所掌範囲外と理解してよろしいでしょうか。	範囲外となります。
22	基礎工事	参考見積仕様書 第4章第2節-3	48		浸出水調整槽①及び浸出水調整槽②エリアの機械基礎工事は所掌範囲外とし、必要な大きさや運転荷重を提示させて頂くものと理解してよろしいでしょうか。	機器の基礎工事は、対象範囲内とします。(機器の据付け精度管理に関係するため)
23	受変電設備	参考見積仕様書 第5章第1節-2	54		別工事「管理棟、計量設備、浸出水調整槽①建屋及びその他」施設に必要な電気容量及び仕様をご教示下さい。なお、別途工事に関する取合い位置は、設置する受変電盤の端子台として計画してよろしいでしょうか。	詳細設計中であり未定です。2023/6/26の回答書その1、質問番号3を参考としてください。 (建築施設の工事設計図書を参照し、必要な容量を設定してください。)
24	受変電設備	参考見積仕様書 第5章第1節-2	54		後年に増設する可能性のある高度処理設備に係る電気容量を見込んで受変電設備の計画をするという理解でよろしいでしょうか。	その通りです。
25	非常通報装置	参考見積仕様書 第5章第2節-2-4)	56		非常通報装置につきまして、通報の形式については電話回線を利用した音声で計画するものとし、警報メールはなしとしてもよろしいでしょうか。 また、非常通報装置の信号点数は具体的にはどの程度必要でしょうか。	現施設では、水質異常、水位異常、機器異常、1時間降水量異常を対象とした電話回線での通報システムを構築し、特段の支障もなく運用しています。 新処分場のシステムにおいては、各社のノウハウと捜査員の維持管理の容易性を考慮しての提案を拒むものではありません。(電話回線のみでも可となります)
26	将来の設備増設	参考見積仕様書 第5章第2節-2-6)	56		中央監視システムにおいて、将来の設備増設に向けてシステム拡張性を持たせる、とありますが、ハード面で空きスペースを確保すると解釈してよろしいでしょうか。 あるいはあらかじめ増設する設備に対応したソフトウェアを準備するものでしょうか。 ソフトウェアを準備するとした場合、増設する設備の機器構成や信号点数についてご教示頂けますでしょうか。	ハード、ソフト両面での対応が対象となります。将来の課題発生を想定した提案をお願いします。
27	将来の設備増設	添付資料2			全体配置図等のCADデータを開示願います。	CADデータを提供します。(現在詳細設計中の施設が含まれているため、当該資料の利用は見積図書作成のみとし、取り扱いに注意願います。)
28	造成計画平面図	添付資料11			上水配管は、水処理施設所掌範囲外とございますが、各エリアでの「取合位置、配管口径、圧力、標高」をご教示下さい。なお、取合い箇所については、 ・浸出水調整槽①エリア ・水処理施設エリア の2箇所を想定しておりますがよろしいでしょうか。	上水道管は、浸出水放流管渠と同じルートに埋設を予定しています(管径等は現在詳細設計中です)。取合い箇所については、別途提示します。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
29	ユーティリティ必要量	募集の留意事項			設備運用の必要量(井戸水、上水道)について、全量上水を用いるもので計画しております。井戸水を用いる場合、使用許容量及び取合い仕様、井水水質等をご提示願います。	井戸水の必要量に応じて、井戸の確保を検討します。よって、先ずは水処理施設において井戸水に転換可能な水量の算出をお願いします。井戸水の水質は提供します。

第9回 新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 建設工事 質問および提案書

公益財団法人 宮城県環境事業公社

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
1	浸出水調整槽①構造図	添付資料5			浸出水調整槽①機械室への場内からの進入動線、道路幅員をご提示ください。また、構造図(1)の水槽上部は、車両走行可能と考えて良いでしょうか。	浸出水調整槽①の管理用道路の図面を提供します。 浸出水調整槽①上部の全域の車両侵入は考えていません。車両侵入が必要となる区域や小堤車両などについて、個別説明会時の留意事項の「2. 見積設計図書提出資料の2) 浸出水調整槽(任意提出)」により意見をいただけると幸いです。
2	浸出水調整槽①構造図	添付資料5			浸出水調整槽①機械室について、地上部平面図及びA-A断面図を正として、縦横2スパン(15m×17m)の機械室で計画されていると考えれば良いでしょうか。 機械室は水処理に関わる機器の配置スペースという考えでよろしいでしょうか。	添付資料5は、水処理施設に関わる機器及び地下水監視ピットのためのスペースとして、発注者の標準案を示したものです。修正が必要な場合は、「意見要望書」の提出をお願いします。 (土木施設の工事設計図書を参照してください。)
3	浸出水調整槽の運用方法	基本設計報告書 4-(3)-②-(c)			各浸出水調整槽の運用方法について、基本設計の検討において、どちらの調整槽を主体に運用するか検討が必要との記載がありますが、運用方針をお示しください、	浸出水調整槽の運用方法の計画案については、基本設計報告書の「4.浸出水量と調整槽の検討」に示したとおりです。なお、3つのケースのどれを採用するかについては、整備される施設による操作の容易性、ポンプの能力やランニングコストも関わってくるため、今後の検討事項としています。 (資料の基本設計報告書に発注者側の標準案を示しています。なお、各社のノウハウによる技術提案を求めます。)
4	汚泥処理方式(汚泥運搬車)	参考見積仕様書 第1章第2節-1-2)	4		汚泥処理 前回の質問回答書その4、脱水汚泥搬出車両は4t車を想定と回答頂いておりましたが、変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2023/6/29 回答書その4、質問番号1のとおり。
5	放流先の場所	参考見積仕様書 第1章第2節-2-1)-(2)	7		放流管の下水道接続先の位置をご提示ください。 また、取合い桝の仕様、レベルについては、前回の質問回答書その2より塩ビ製汚水用合流桝(桝径φ200)、管底高GL-1000と記載がありますが、変更ないものと考えてよろしいでしょうか。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号9のとおり。
6	後年の高度処理設備について	参考見積仕様書 第1章第2節-3-5)-(1)	10		5)特記事項(1) 前回の質問回答書その1より、後年の高度処理設備は砂ろ過塔、活性炭吸着塔、ほう素キレート吸着塔を想定するものと記載がありますが、変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2023/6/26 回答書その1、質問番号4のとおり。なお、ここで示しているのは発注者側の想定であり、計画する水処理施設により一定の効果が得られるのであれば、発注者側の想定と異なることを妨げないことを申し添えます。
7	排水設備	参考見積仕様書 第1章第2節-4-4)-(4)	12		4)敷地周辺設備 (4)排水 「生活排水は水処理施設を経由せず、直接下水道放流とする」と記載がありますが、施設用途からすると本内容が正と考えられます。 参考見積仕様書P53、12.建築設備に記載されている「水洗便所は下水道放流とし、その他設備から排出される排水は流入調整槽へ移送し処理する」は誤記と考えてよろしいでしょうか。	トイレの外、給湯室などから排水させる排水が生活雑排水に限定される場合は、下水道施設へ直接排水し、水質試験器具や水処理機器等の洗浄施設としての機能を兼ねる場合は汚染水として流入調整槽へ移送し、水処理を行ってください。(既存施設の給湯室、シャワー室の排水は生活雑排水処理となっています)
8	ポンプと配管の接続方法	参考見積仕様書 第3章第1節-3-(1)-1)	19		3.機器の据付等(1)ポンプ類 「ポンプと配管との接続は、フランジ方式を標準とする」とありますが、自動接続型が現在是一般的に採用されているので変更して宜しいでしょうか。	2023/9/29 回答書その3、質問番号8のとおり。
9	流入調整設備・緊急遮断弁	参考見積仕様書 第3章第2節-1	21		第2節流入調整設備 1.緊急遮断弁 前回の質問回答書その3より、電動バタフライ弁は、土木工事側配管とのフランジ取合いと回答されていましたが、変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2023/9/19 回答書その3、質問番号9のとおり。
10	洗車設備	参考見積仕様書 第3章第12節(1)-8)	46		第12節洗車設備 「汚水は流入調整槽に流下させること」とありますが、構内道路への埋設配管となる事が想定されますので、水槽近傍まで土木工事にて対応するように検討願います。	洗車設備及び流入調整槽とも水処理施設棟内部の施設であることから、それを接続する配管についても、水処理施設の一連の施設と想定しています。よって、各設備の配置計画の関係から一部区間が屋外となる場合においても、水処理施設と一体となった設計として、設計・施工とも今回の見積もり対象範囲としてください。なお実際の施工に当たっては、施工業者(JV)の判断となります。
11	受変電設備	参考見積仕様書 第5章第1節-2	54		2.受変電設備及び配線工事 受電容量は別途工事である計量棟、管理棟も見込むものと考えてよろしいでしょうか。 その場合は各種の概略電気容量をご提示ください	2024/3/21 第8回回答書、質問番号23のとおり。
12	照明設備	参考見積仕様書 第5章第1節-6	55		6.屋内照明及び屋外照明設備 本工事の屋外照明は、水処理施設周辺の動線部分に設ける考えでよろしいでしょうか。	新処分場全体の屋外照明設備は、別途実施設計業務で検討中です。今回の見積り図書の対象とするのは、水処理施設の玄関部や点検路、薬品搬入等で必要とする照明施設です。

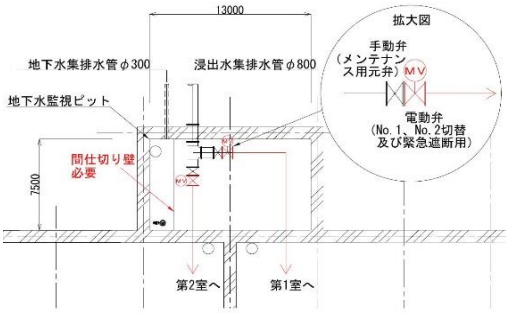
第9回 新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 建設工事 質問および提案書

公益財団法人 宮城県環境事業公社

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
13	造成計画	添付資料2 造成計画平面図			水処理施設の計画地盤高さは、GL=65.0と考えてよろしいでしょうか。	2023/6/29 回答書その3、質問番号25のとおり。
14	場内道路計画	添付資料2 施設配置平面図			場内動線についてご教示ください。 搬入車両1・2、一般車両と並ぶ場内道路で、一般車両の隣にある道路は職員及び維持管理者の車両動線と考えてよろしいでしょうか。また、場内動線の考え方についてご教示ください。	別添資料
15	管理棟、水処理棟の玄関配置	添付資料2 施設配置平面図			管理棟の玄関は駐停車スペースのある南面と考えてよろしいでしょうか。 水処理施設の玄関は、来客用駐車場の位置より西面や南西面に設ければ宜しいでしょうか。管理棟・水処理施設間、水処理施設・浸出水調整槽②間の構内道路は、維持管理用と考えれば宜しいでしょうか	管理棟の南側に玄関、その他職員用出入口が西側、搬入業者等を対象とする出入口を東側に配置する予定です。水処理施設等の玄関は、維持管理の容易性を考慮して計画願います。 各施設間にある道路は、維持管理や機器更新等の作業スペースとして計画しています。
16	モニタリング設備	添付資料5			前回の質問回答書その3より、モニタリング設備は別途と回答がありましたが変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2023/9/29 回答書その3、質問番号13のとおり。
17	電気引込みルート	添付資料11			電気引込箇所から構内への配線ルート(搬入道路部)は、架線で積算すれば宜しいでしょうか。 また、硬質地盤が露出している箇所などはないものと考えればよいでしょうか。(一般工法で施工可)	2023/9/29 回答書その3、質問番号15のとおり。
18	上水道計画	添付資料11			上水道は、前回の質問回答書その3より、別途工事で敷設し水処理施設近傍での取合いとすると回答されていましたが、変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号28のとおり。
19	上水道計画	添付資料11			上水道について、前回の質問回答書その2より、「取り合い位置～浸出水処理施設間の配管口径はφ25、圧力は200kPa、標高は64.0m 程度を想定して計画してください」と回答がありますが、変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号28の回答に添付した図面を参考としてください。
20	工期	その他			工事工程について 各工事の施工時期確認のため、工事工程をご提示ください。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号2のとおり。
21	敷地境界線	参考見積仕様書 第1章第1節-4-1)			敷地境界線について 添付資料6の赤線ライン、添付資料10、11の黒線ラインを敷地境界線と考えてよろしいでしょうか。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号1のとおり。
22	地質条件の現地不一致	その他			水処理施設の建設地は、付近のBP7のデータしかないため、万が一地中障害物や支持層の変動があった場合は、対策費用等は発注者の負担として計画させていただきます。	設計変更協議に関しては、契約後、契約図書に従ってください。
23	建築工事	その他			水処理施設建屋について、前回見積設計時の質問回答書その2より、地域係数1.0、重要度係数は1.25を用いることと回答がありますが、変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2023/9/26 回答書その2、質問番号13のとおり。
24	浸出水調整施設周辺の がけ条例	その他			浸出水処理施設の周囲にある法面の崖条例基準について、前回の質問回答書その2より、崖条例の適用を受けないものと回答がありますが、変わらないものと考えてよろしいでしょうか。	2023/9/26 回答書その2、質問番号31のとおり。
25	掘削土仮置き場	その他			建設中に発生する残土の場内仮置き場所は、前回の質問回答書その2より、新設アクセス道路と場内進入口交差点の西側の位置で変わらないでしょうか。	見積作成に当たっては、2023/9/26 回答書その2、質問番号32のとおりです。実際の施工では、施工業者(JV)の施工計画の中での調整となります。
26	地質調査報告書	その他			周囲の地盤状況を確認したいため、地質調査報告書一式を頂けないでしょうか。	周辺地盤については、添付資料8の地質断面図とCD-Rの土質試験一覧により想定願います。また、今回浸出水調整槽①となるBP.5の柱状図を追加配布します。
27	参考見積仕様書のワードデータ	その他			参考見積特記仕様書のワードデータを提供ください。	提供します。

第9回 新産業廃棄物最終処分場 浸出水処理施設 建設工事 質問および提案書

公益財団法人 宮城県環境事業公社

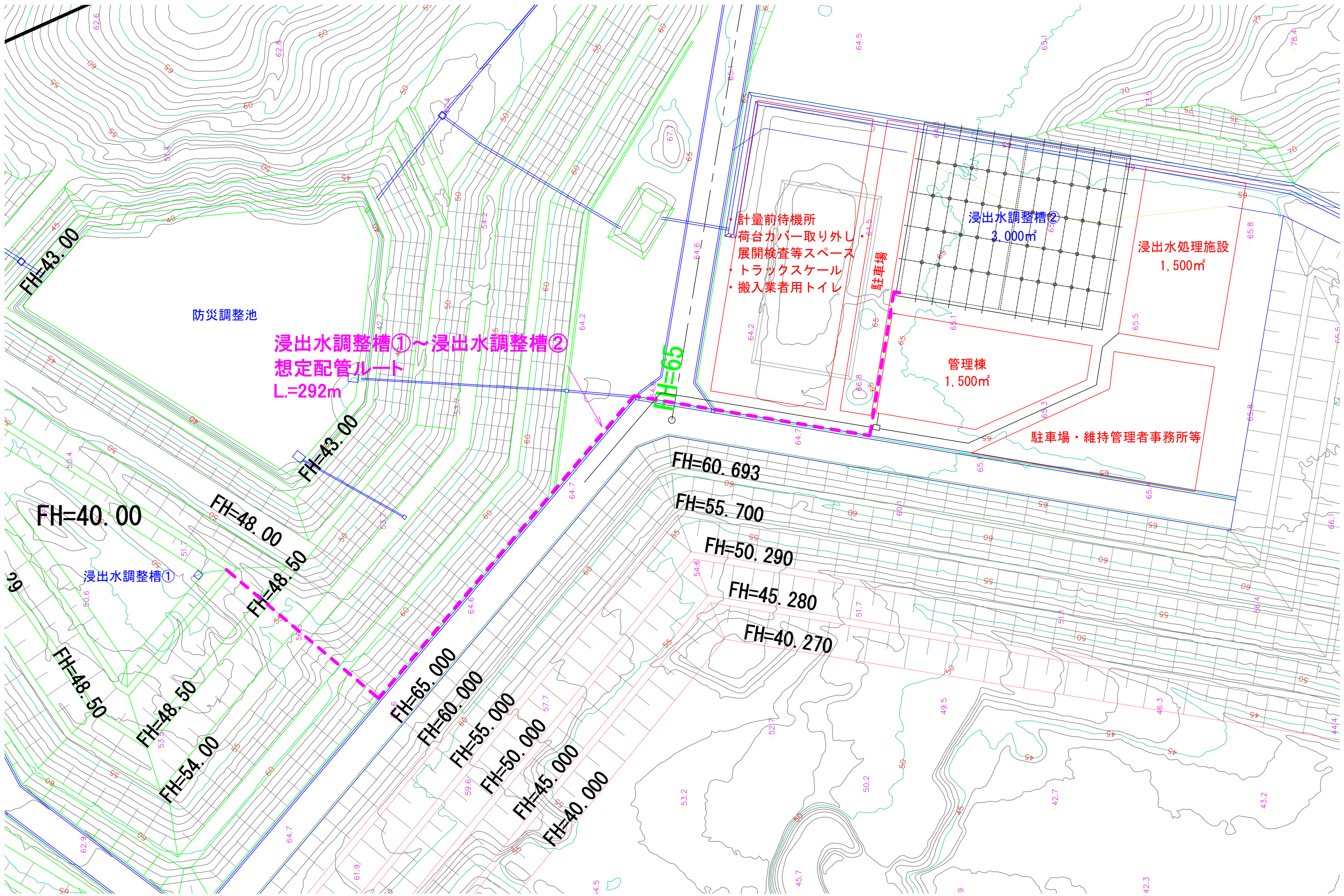
番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
28	浸出水調整槽①緊急遮断弁構造	浸出水調整槽①構造図(3)			<p>浸出水集排水管に設置する遮断弁について、下図のような配置計画とすれば良いでしょうか。</p> <p>また、調整槽が地中埋設構造となっていますが、集水ピット構造としてポンプアップする構造は計画上難しいのでしょうか。</p> 	<p>遮断弁については、維持管理可能で発注者仕様を満足する計画であれば構いません。</p> <p>発注者が標準案として計画した浸出水調整槽①計画は、大雨時における浸出水(約20,000m³/日を予測)を速やかに浸出水調整槽①に流入させ、埋立て地の冠水被害を最小限とするよう「地下構造物＋自然流下方式」としました。「修水ピット＋ポンプアップ方式」が発注者の標準案より有利となる場合は、技術提案をいただくことを妨げません。(新出水調整槽①の構造が見積徴収時と異なっていますので、土木施設の工事設計図書を確認してください。)</p>
29	浸出水調整槽①の硫化水槽対策	硫化水素の対策について			<p>本施設は、石膏ボードの埋立割合が高く、硫化水素の発生が懸念されております。</p> <p>高濃度の硫化水素が発生した安定型処分場などの前例や下水道の防食技術マニュアルなどにより、発生抑制が重要である点が報告されています。</p> <p>現実的な対策として、堤内貯留をしない、浸出水を嫌気的な環境下におかない点が考えられますが、調整槽①については対策不要で良いのでしょうか。</p> <p>調整槽①は、空気攪拌設備であれば設置可能なように見受けられます。</p> <p>(常用槽の(1)のみ設置など)</p> <p>水槽内の保守点検時の安全性確保、躯体の長寿命化、脱臭装置の負荷低減の観点より設備構成の検討が望ましいのではないかと考えています。</p>	<p>機械攪拌とすると調整槽①は地下埋設構造のためマシンハッチ等の設置が難しく、「攪拌なし」として計画していることから、今回の見積もり対象としていません。</p> <p>なお今回の回答をもって、本工事の公告時に技術提案頂くことを妨げるものではありません。</p> <p>(浸出水調整槽に設置するポンプ運転や圧送用配管からの浸出水の解放方法等によっては、浸出水中の硫化物イオンが硫化水素ガスに変化することが懸念されます。各社のノウハウにより必要な施設の計画をしてください。)</p>
30	既存施設の臭気状況	現在の調整槽の状況について			<p>既存施設の調整槽の臭気状況、調整槽攪拌設備の構成、躯体の劣化状況など現況の資料を提供頂けないでしょうか。</p>	<p>資料を提供します。(添付資料の硫化水素ガス対策を参照してください。)</p> <p>調整槽では、臭気をほとんど検出していませんが、調整槽上流にある集水ピットでは、硫化水素を検知しています(集水ピットでの定期的な観測は行われていません)。調整槽躯体の著しい劣化はありません。</p>
31						
32						
33						

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
1	工期	参考見積仕様書 第1章第1節-5	3		工期が令和6年度から令和9年度までと記載されておりますが、今回工事は週休2日を推進するための4周8休以上の現場閉所を実施する工事と考えてよろしいでしょうか。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号3のとおり。
2	工期	参考見積仕様書 第1章第1節-5	3		工期が令和6年度から令和9年度までと記載されておりますが、各種許認可取得など、着工当初より現場着手に支障のない状況が確保されているものと理解してよろしいでしょうか。	水処理施設の建築確認申請以外は、現場着手までに発注者側で完了予定です。 (全体特記仕様書を参照してください。)
3	管理設備	参考見積仕様書 第1章第2節-3-(12)	10		更衣室および便所は、男子と女子を別に記載していますが、脱衣室とシャワー室は、特に記載がないので、男女兼用での使用するとの理解してよろしいでしょうか。	仕様を満足すれば、男女兼用を可とします。
4	汚泥処理設備(汚泥運搬車)	参考見積仕様書 第1章第2節-3-(6) ?	10		脱水汚泥の搬出車両について、汚泥搬出時以外の時間は水処理施設内に駐車するものと理解してよろしいでしょうか。	仕様を満足すれば、水処理施設内の駐車を可とします。
5	排水設備	参考見積仕様書 第1章第2節-4-(4)-(4)	12		生活雑排水は水処理施設を経由せず、直接、下水放流とする、とありますが、P.53の「12.建築設備(3)排水」では、水洗便所の污水以外のその他の排水は、流入調整槽への移送と記載されています。 給湯室やシャワー室の建築排水先は、どちらで計画すればよろしいでしょうか。	2024/3/22 第9回回答書、質問番号7のとおり。
6	汚泥処理方式(汚泥運搬車)	参考見積仕様書 第1章第2節-1-2)	4		脱水汚泥の搬出車両の積載量は各社想定によるものとの理解でよろしいでしょうか。	2023/6/29 回答書その4、質問番号1のとおり。
7	外構工事	参考見積仕様書 第4章第2節	47		「第4 章 土木・建築設備仕様」について外構工事についての記載がありませんが、工事対象外との理解でよろしいでしょうか。	雨水側溝や舗装は、別途実施設計業務で設計し、仕様発注区分での工事実施となります。
8	外構工事	参考見積仕様書 第4章第2節	47		外構雨水排水について記載がありませんが、屋根等の雨水排水の堅樋をGLまでの施工との理解で宜しいでしょうか。	各建築物等の概要等の確定後、排水側溝は実施設計で計画します。そのため、水処理施設からの排水の取合点を、雨水側溝の計画しやすい位置や構造に設定し、取合点の雨水枅等に接続するまでを施工範囲とすること。
9	下水配管	参考見積仕様書 第4章第2節-12-(3)	53		水洗便所の污水は下水道放流する。と記載されておりますが、下水の屋外配管は工事対象外で、浸出水処理施設で配管取り合いを行うとの理解でよろしいでしょうか。	水処理施設から取合点への接続までが、今回の見積り図書の対象範囲となります。
10	受変電設備	参考見積仕様書 第5章第1節-2	54		受変電設備について、水処理施設以外(管理棟・計量棟等)の受電容量等も見込むとの理解でよろしいでしょうか。その場合の水処理施設以外の受電容量は概算値等ご教示頂くことは可能でしょうか。	実施設計中であり未定です。2023/6/26の回答書その1、質問番号3を参考としてください。
11	その他設備	参考見積仕様書 第5章第1節-1	54		水処理施設と他施設(管理棟や計量棟など)との建築設備(電話設備や放送設備、給水設備)の接続はないとの理解でよろしいでしょうか。	現施設では、各施設間を繋ぐ電話設備や放送設備等はなく、また特段の支障もなく運用しています。 新処分場のシステムにおいては、各社のノウハウと運転監視員の維持管理の容易性を考慮しての提案を拒むものではありません。(接続なしの提案も可となります) (水処理施設と他施設(管理棟や計量棟など)を屋外LANケーブルで接続する計画としています。建築施設の工事設計図書を参照願います。)
12	参考見積仕様書のワードデータ	その他			参考見積仕様書のWordデータを頂く事は可能でしょうか。	2024/3/22 第9回回答書、質問番号27のとおり。
13	現地視察	その他			見積期間中に建設予定地を見学させて頂くことは可能でしょうか。	見学は可能ですが、予定地には第三者の土地を利用しての立ち入りとなりますので、当方まで事前に申し込みをお願いします。
14	地質調査報告者	その他			地質調査報告書一式のデータ、或るいは、お借りしてコピーすることは可能でしょうか。	一式データには、水処理施設予定地以外のデータも含まれています。水処理施設設計に必要なデータのみ抽出してお渡ししますので、不足分をご連絡ください。
15	場外アクセス道路	添付資料10			工事期間中の工事車両の動線は、周辺現況写真に記載のアクセス道路となるのでしょうか。その場合アクセス道路は本工事着工当初から利用できるものと考えてよろしいでしょうか。また、別途、道路新設等計画がありましたら、ご教示下さい。	添付資料10の青枠で囲われた新設アクセス道路は、全体工事に含まれる対象施設の一つとなります。その施工時期は、受注者の工程計画によるものとなります。添付資料10に示すアクセス道路以外は、使用しないでください。

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
16	上水道施設	添付資料11			敷地周辺設備位置図に上水は対象外とありますが、上水の屋外配管は対象外で、浸出水処理施設で配管取り合いを行うとの理解でよろしいでしょうか。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号28のとおり。
17	その他	添付資料4			「添付資料4」が抜けていますが、万一資料の添付漏れがありましたらご提供願います。（単なる番号の抜けでしたらご容赦願います）	欠番としています。
18	その他				工期内に物価上昇が生じた場合、インフレスライドは対応していただけたと考えてよろしいでしょうか。	契約後、工事契約書に従って対応することになります。なお実際の適用に当たっては、発注者・受注者間の協議が必要となります。
19	洗車機	参考見積仕様書 第3章第12節-(1)	46		高圧水噴射式洗車設備の使用場所は、建屋内を想定しているのでしょうか。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号19のとおり。
20	地下水排水ポンプ	参考見積仕様書 第3章第2節-2-(8)	23		地下水排水ポンプの排水先は、どこでしょうか？また、揚水量及び揚程をご教示ください。	2024/3/21 第8回回答書、質問番号15のとおり。
21	放流先の種類と場所	参考見積仕様書 第1章第2節-2-1)-(2)	7		下水道放流ポンプの接続先及びその構造をご教示下さい。	浸出水処理水、生活雑排水とも放流先は同じ取合点(ピット)となります。なお取合点や構造は、2024/3/21 第8回回答書、質問番号8～9のとおり。
22	放流先の種類と場所	参考見積仕様書 第1章第2節-2-1)-(2)	7		水洗便所の汚水の下水道の接続先及びその構造をご教示下さい。	同上
23	その他				令和5年6月参考見積仕様書と今回参考見積仕様書との変更点以外は、令和5年6月参考見積仕様書に係る質問回答書の回答内容が反映されるものと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
24						
25						

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
1	水処理棟の設計・構造計算	参考見積仕様書第1章第2節-3-5)-(7)	11		『地下の水槽部は土木構造物として行い』とあります。地下の水槽部は、確認申請の関係で土木構造物としての構造計算とは別に建築基準法に適合した構造計算、図面も必要になります。地下の水槽部の施工は、確認申請図に基づく建築仕様で行うと考えてよろしいでしょうか。	地下水槽を有する水処理施設棟のような建築・土木の複合構造物の建築確認申請については、土木部分が土木基準により適切に設計された構造物となっていることが確認されれば、建築部分と土木部分を切り分け、建築部分だけが審査対象となります。(宮城県内の審査機関に確認済み)よって、地下水槽部の建築確認申請を目的とした建築・土木の二重による構造計算や図面作成、施工管理の必要はありません。
2	排水	参考見積仕様書第1章第2節-4-4)-(4)	12		屋根の雨水排水の所掌は、堅樋、堅樋下の雨水桝までと考えてよろしいでしょうか。	2024/3/28 第10回回答書、質問番号8のとおり。
3	その他	参考見積仕様書第2章第8節-5	16		施設内備品(デスクやイス)は別途工事と考えてよろしいでしょうか。	今回の見積設計図書の対象外となります。
4	衛生器具等	参考見積仕様書第4章第2節-12-1)-(2)	53		水処理施設内の建築機械設備を全電化で計画してもよろしいでしょうか。	コンロや給湯器等に関する質問と想定しますが、仕様を満足すれば、全電化も可とします。
5	受変電設備及び配線工事	参考見積仕様書第5章第1節-2	54		高圧受変電盤の規格はJISC4620に準拠するものと考えてよろしいでしょうか。	各社で設定する設備に対応した規格・規定を用いてください。
6	動力設備	参考見積仕様書第5章第1節-4	55		動力制御盤での監視および運転操作用としてタッチパネルを使用してもよろしいでしょうか。	各社のノウハウに基づく提案を拒むものではありません。(参考:現在稼働中の施設では、一部の機器でタッチパネル操作を採用しています)
7	動力配線工事	参考見積仕様書第5章第1節-5	55		屋外配線が発生する場合、高圧引込電柱を利用した架空配線または難燃性FEP管による露出配線施工も可能と考えてよろしいでしょうか。	架空配線については電線間の離隔など内線規程や電気設備技術基準等に準拠し、露出配管については長期耐久性などで問題が無く、かつそれぞれに施設の維持管理において支障が無い位置であれば可とします。
8	屋外照明	参考見積仕様書第5章第1節-6-2)	55		浸出水処理施設建屋外壁以外に設ける必要がある屋外照明があればご教示ください。	2024/3/22 第9回回答書、質問番号12のとおり。
9	その他建築付帯電気設備	参考見積仕様書第5章第1節-7	55		以下の建築付帯電気設備に関する記載がありませんが、不要と考えてよろしいでしょうか。 ①LAN設備工事 ②時計設備工事 ③防犯空配管工事	各社のノウハウに基づく提案を拒むものではありません。(参考:現在稼働中の施設の状況、 ①テレメータ(NTT回線使用)による遠隔監視を行っています ③民間の防犯会社と契約を行っています)
10	放送設備(必要に応じて)	参考見積仕様書第5章第1節-7-1)	55		放送設備について浸出水処理施設建屋内以外にスピーカー等が必要な場所があればご教示ください。	「参考見積仕様書」に示した通り、各社のノウハウから、必要と思われる個所に提案してください。
11	電話設備、インターホン設備	参考見積仕様書第5章第1節-7-2)	55		インターホンは浸出水処理施設建屋玄関と事務室間に設けるものと考えてよろしいでしょうか。	「参考見積仕様書」に示した通り、各社のノウハウにより必要と思われる個所に提案してください。
12	計装設備(建築付帯)	参考見積仕様書第5章第2節	56		カメラ設備に関する記載がありませんが、不要と考えてよろしいでしょうか。	水処理状況の監視用カメラの質問であれば、「参考見積仕様書」P56の中央監視システム計画計画の中で、各社のノウハウに基づき提案してください。また、防犯用カメラとしての質問であれば、見積設計図書のり対象外となります。(参考:現在稼働中の施設には、水処理監視用のITVカメラはありません)
13	許認可申請				水処理施設以外の建築物は、図面発注と考えるので、公社様またはコンサル様にて確認申請を取得すると考えてよろしいでしょうか。また、その場合に水処理施設の確認申請は、計画変更(増築)の手続きとと考えてよろしいでしょうか。	その通りです。 (全体特記仕様書を参照してください。)
14						
15						

番号	質疑項目	対象資料	頁	種別	内容	回答
1	井戸水汲み上げ施設	「浸出水処理施設の参考見積設計図書の募集」提出時の留意事項について			井戸水の必要量に応じて井戸の確保を検討されるとの事ですが、井戸設置位置・取り付け点等が現状不明のため、井戸水取水に係るポンプ・配管は本見積の対象範囲外としてよろしいでしょうか。	水処理施設で使用する水道水、井戸水それぞれに分割した水量を算出するように照会していますが、井戸水取水に係るポンプや配管の設置費用については、見積算出の対象外となります。
2	水質試験室での水質試験項目	参考見積仕様書第1章第2節-3-4)-(12)	10		水質分析室で測定する分析項目について、想定がありましたらご教示願います。	水質試験室での分析項目については、各社のノウハウにより提案してください。 参考:現在稼働中の水質試験室での検査項目 「アンモニア性窒素」「アルカリ度」「BOD」「COD」「汚泥含水率」「全窒素」 また水質試験室の試験項目ではありませんが、下水道放流水の「pH」「電動度」「COD」「COD負荷量」「放流量」を自動計測し、そのデータをメールにて下水道管理者に自動送信しています(添付資料参照)
3	建築設備	参考見積仕様書第4章第2節-12	53		機械警備設備の記載がありませんが、浸出水処理施設では機械警備設備の設置を予定していないとの理解で宜しいでしょうか。 もし機械設備設備の設置を行う場合には、本見積の対象として空配管を見込むべきか、ご指示下さい。	2024/3/28 第11回回答書、質問番号9のとおり。
4	地質調査報告者	第10回回答書質問番号14			地質調査報告書に関するご回答「水処理施設設計に必要とするデータのみ抽出してお渡しますので、不足分をご連絡ください。」について、不足分抽出のため、地質調査報告書の目次データをいただけないでしょうか。	提供します。 (資料の地質調査報告書を参照してください。)
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						



新産業廃棄物最終処分場建設工事に係る浸出水処理施設の 設計条件の仕様変更について

令和 6 年 7 月 24 日
公益財団法人 宮城県環境事業公社
理事長 後 藤 康 宏
(公 印 省 略)

公益財団法人宮城県環境事業公社（以下、「公社」という。）が計画している標記工事のうち浸出水処理施設について、実施設計を進めるにあたって以下のとおり仕様が変更となりましたので、通知します。

1. 仕様変更内容

(1) 浸出水調整槽①（添付資料 1）

仕様発注による水槽躯体上部の上屋を無くしました。

ただし、下部水槽の構造に影響のない範囲で建築物を設置する技術提案は可能とします。

(2) 臭気対策（添付資料 2）

埋立地から浸出水調整槽①に流入する浸出水の硫化水素濃度は 20ppm に設定する。浸出水調整槽に設置する設備により浸出水調整槽や配管内部での上昇量を勘案して臭気対策を行うこと。

2. 留意事項

上記に伴う見積書の再徴収は行いません。

担当：企画調整課 今野
〒981-3415
黒川郡大和町鶴巣小鶴沢字大沢 5
TEL 022-343-2877
E-mail : miya-kan@aiores.ocn.ne.jp